

「長和町 中山道散策譚」

「コンちゃんとゆく！長和町中山道」

企画内容

長和町にある中山道の宿場についてのセルフガイドを宿場付近のバス停に設置する。

コンセプト

- ・ 長和町にある中山道の概要を簡単に、気軽知ることができるセルフガイド
キャラクターや会話劇などを用いて宿場跡の観光するきっかけをつくることのできるものにする。

目的

- ・ 中山道についての知識がない状態で現地に訪れた人にも親しみやすさのある長和の宿場跡について知ることができるツールにする。
- ・ 長和町の観光客を増やすというよりは長和町にいる人や来た人に対して宿場跡の観光を促す。
- ・ 中山道の歴史に対して取っ付き難い、敷居が高いと感じてしまう人にもセルフガイドによって少しでも親しみをもってもらおう。
- ・ 大人用（中学生以上）と子ども用（小学生～）用の2つのパターンを考え、幅広い年代に楽しんでもらえるようにする。
年齢によって着目点を変えるよう促す内容にする。

提案理由

長和町について調べた際、長久保宿や和田宿等の中山道の宿場があることを知りました。歴史や街並み等に魅力を感じもっと知りたいと思って調べた際、中山道についての話題などは歴史が好きな人や詳しい人しかわからないし訪れない雰囲気を感じました。そこで、宿場跡のような景色が好きが人、私のように歴史が好きだけどあまり詳しくないという人でも概要を簡単に知ることによって観光や散策の導入として楽しめる、詳しい人にも改めて知ってもらうことでより観光が楽しめるようなものがあれば良いと考え、この企画を提案しました。

対象

長和町、長久保宿、和田宿の観光客（特に若者、子連れ）

- 年齢
- ・大人用：中学生以上
 - ・子ども用：小学生

セルフガイド概要

大人用セルフガイド「長和町、中山道散策譚」

- ・ A5 サイズの 4 ページ冊子
- ・ 設置するバス停

長久保：堅町、長久保

和田：上深山口、和田小学校前バス停

- ・ 3 種類のセルフガイドを作成

- 1、中山道編：そもそも中山道とはなんなのか。長久保宿、和田宿に触れる前の導入編
全バス停共通で設置。
- 2、長久保宿編：主に長久保宿についての解説。長久保宿付近のバス停に設置。
- 3、和田宿編：主に和田宿についての解説。和田宿付近のバス停に設置。

ページ構成

1p：キャラ紹介

2p：導入会話：宿場跡や中山道のことについてキャラ同士の会話でおおよその概要を知る。

3、4p：施設や民話、伝統工芸品などについて：キャラクターが書いたノート風のページ。

セルフガイド キャラ紹介



大人用セルフガイド
長和町 中山道散策譚 主人公

双子

約 18 歳

道夫（みちお）

観光客の双子の弟。

会話劇では質問担当。

観光にも勉強にも意欲的。

最初は観光に行く姉に
「面白そうだから」という
理由でついていく。



歩夢（あゆむ）

観光客の双子の姉。

会話劇の中では解説担当。

歴史が好き。

中山道に興味を持ってまず
は家から近い長和町の宿場
跡を観光しようとする。

子ども用セルフガイド
コンちゃん&ゆく！長和町中山道 主人公

ついていく



コンちゃん

長和町にいるきつねのお化け。

双子の観光についていく。
小さい子どもだけに姿が見
えるため双子には見えてい
ない。子どもと遊ぶのが好
きで長和町に観光にきた子
どもとよく遊んでいる。
元ネタは、長和町の民話
「清水坂の狐」から。

- キャラクターは、セルフガイドを手にする人が親しみやすいように、男女の観光客という設定で作成した。
- 大人向け、子ども向けのキャラが連動していることで親子で手にする際につながりを感じられる。

セルフガイド 表紙

- ・長久保宿編、和田宿編の場合
→設置されているバス停のとキャラクターのイラスト

宿場の概要とともに長和町のバス停にも注目してもらいます。
そのバス停でしか見られない表紙デザインにします。

例：和田小学校前



2ページ目例

中山道編



道夫：長和町には中山道の一部が残ってるらしいけど、そもそも中山道ってなんなの？

歩夢：中山道っていうのは、江戸時代に整備された五街道のひとつよ。

道夫：五街道？

歩夢：元は徳川家康が全国を支配するために江戸を結ぶ五つの道路を作ろうとしたらしいの。それが五街道ね。そのひとつが中山道なんだから、よく知られてる東海道もそう。

道夫：へえ。そんな壮大なことをしてんだ、徳川家康って。そういえば東海道は浮世絵とかで見たことあるかも。なんかいろんな街の絵があって人が歩いていたり馬が荷物を運んでたりしてた。

歩夢：あ、「東海道五十三次」ね。中山道も「本曾海道六十九次」とって名前前で浮世絵で描かれてるのよ。タイトルの通り中山道は現在の東京から京都まで六十九の宿があったらしいわ。

道夫：そんなに宿があるってことは、中山道って旅行する人が通る道路なの？

歩夢：うん、旅行者も通っていたし、幕府の参勤交代の大名とか身分が高い人たちが休んだり、宿泊したりした場所みたいね。

道夫：参勤交代！歴史の授業に出てきたなあ。たしか、他の地方にいる大名が一年おきに江戸に来るっていう制度だったっけ？

それにしても、江戸時代の人は中山道歩いて目的地まで行っていったんだよね。馬の力は借りられたとしても昔は車や電車なんてないし…そう考えると昔の人ってすごいな！僕だったら一日歩いただけで倒れちゃうそう…

歩夢：本当にすごいわね。ちなみに、中山道を歩き切る日数を調べてみたら大体三ヶ月四十日、早い人十七〜十八日だった。

道夫：うう、想像しただけで足が痛くなってきたよ…

長久保編



道夫：あ、それ昔観た大河ドラマでできたことあるかも…！

歩夢：ここが長久保宿本陣跡ね。実はここって中山道にある本陣の中で一番古い建築なんだって。

道夫：すごいなあ、江戸時代にタイムスリップしたみたい…！本陣ってことは身分が高い人たちが泊まった建物だよな？

たしか、一般のお客さんは利用できなかったって…。

この文字がたくさん書かれた木の札はなに？

歩夢：ああ、高札場ね。これは幕府や領主が決めた掟とか決まりごとを木の板札に書いて、人目のつくところに掲げておく場所らしいわ。ここの高札場は復元されたものみだけだよ。

道夫：へえ、四百年にはこんな風景があったのか。なんだか雲霧気あるなあ…

歩夢：そうそう、この土地って戦国時代末期は真田氏の支配地だったのよ。

道夫：真田氏って、あの戦国武将の真田幸村？「大阪夏の陣」とかで活躍した武将だよ。

歩夢：うん、その頃に長久保宿の開発に携わって宿役人になって、本陣を任されていた石合氏っていう真田氏の家臣がいたの。そして真田幸村の娘の長女、すへ（阿菊）は、石合氏（石合十蔵道定）に嫁いだのよ。だからこの長久保宿本陣は、真田幸村の娘が嫁いだ場所として知られてるんだって。

和田宿



道夫：和田宿の街並みって、時代劇のロケ地として使われそうなくらい雰囲気だよ。

歩夢：そうね。あ、そういえば和田宿から和田峠は中山道の道程が長い場所だから、文化庁が選定した「歴史の道百選」に選ばれているそうよ。

道夫：そっなんだ！さっきパンフレットで見たけど、和田峠って確か中山道最大の難所だったんだよね？

歩夢：うん、和田宿はまさに和田峠をひかえた宿場だったから、江戸から京都に上るにも、京都から江戸に下るにも和田宿で一泊しなきゃいけなかったみたいね。

道夫：へえ、てことは結構寒えていたんだろつなあ。

歩夢：この和田宿本陣には、今から二百年前ぐらい前に天皇に即位していた孝明天皇の妹である和宮親子内親王も宿泊されたらしいわ。

道夫：和宮内親王？初めて聞く名前だなあ。なんで和田宿に？

歩夢：当時は幕末の動乱真っ只中で、江戸幕府は権威を回復させて反乱を起さないようにしようとしたの。その切り札が、当時の将軍だった徳川家茂と和宮内親王の政略結婚だったらしいわ。和宮内親王が結婚のために江戸に向かう途中で宿泊したのが和田宿なの。

道夫：政略結婚！僕、政略結婚って戦国時代とかの話だと思っていただけで江戸時代でもそういうことがあったのか。言ってる偉い人でも色々大変だったんだな…

宿場の説明を会話におとし入れたものです。

説明文ではなく、キャラの会話文で読み手に親しみをもらいます。

3、4 ページ目 例：長久保宿編

長久保宿 散策メモ

きかずどろくそじん 「不聞道祖神」

昔に長久保の南入り口に祀られた、魔物や病が村に入り込まないようにしていたといわれている道祖人。

村人が耳の病を治してほしいとお願いしたところ、叶ったという話が長門昔話で語られている。



昔話では耳を治してもらったお礼に道祖人さまにおわんをお供えしたんだよわ



たていわわし 立岩和紙

長久保の特産品。

江戸時代の農家の冬場の副業として

少なくとも300年くらい前には行われていた。主に障子紙として使われていた。長和町の古町に、ふるさとセンター「信州和紙の里」が建設され、一度は途絶した立岩和紙は再び復活し伝統技法を継承している。



いっぶくどころはまや 一福処濱屋

明治初期の旅館建築。

宿場関連資料の展示だけでなく休憩所としても利用できる。



すへさんきさがせ!



長久保宿
キャラクター
「すへさん」

歴史を感じる展示がたくさんあるわね



↑参勤交代の侍の衣装

かまなりや 釜鳴屋

現存する町屋としては県内最古。
江戸時代初期から昭和初期まで酒造業を営んでいた。

※個人住宅なので一般公開は行われていない。



3、4 ページ目 例：和田宿編

和田宿 散策メモ

和田宿は大変だった！

- ・ 和田峠の難所をひかえ、継ぎ立てに当たる伝馬役(街道の宿駅で公的な貨客輸送を行うための課役)、歩行役(人の背や肩で荷客を負う役)の苦労は並大抵ではなかった。
- ・ 天保3年に和田宿で動員した人足はのべ17759人、馬のべ7744匹にのぼった。
- ・ 文久元年(1861年)11月の和宮通行の際は、4日間にもべ8万人が通っていた。

和田峠を控えていたことで
和田宿で働いていた人たちは
とても大変だったんだね



黒耀石

- ・ 和田峠は、長野県だけでなく全国的にも有名な黒耀石の原産地。黒耀石は旧石器時代では、石器(石を用いて製作し、使用した道具)の材料として使われていた。



和田宿本陣 (国指定史跡)



文久元年(1861年)3月に大火で全焼した。しかし、11月の皇女和宮降嫁の宿泊とされたため、再建された。

これだけの規模の本陣が残っている宿場は中山道の中でも数少なく、貴重な遺産。

本陣内部では
資料も展示されて
あるのね



和田宿歴史の道資料館 「かわちや」

和田宿の中では規模が大きな旅館だった。現在では中山道宿場の資料が展示されている。



蕎麦屋・徳田



築160年ほどの古民家を改良して作られた蕎麦屋。昔ながらの外観や室内が特徴的。

3、4 ページ目 例：中山道編

中山道



中山道全図 (熊谷デジタルミュージアムより)

江戸(現在の東京)の日本橋から京都の三条大橋まで約 533.9 km の距離があった。山岳地帯を進んでいく。

難所や冬の雪が過酷な道だったが川の障害が少ないという理由で特に女性が利用していた道でもある。

宿場

- 本陣、脇本陣...大名が泊まる場所
- 旅籠、木賃宿...旅人が泊まる場所
- 問屋...人馬の継ぎ立てを行う場所

中山道では各宿に 50 人の人と 50 匹の馬が常備され、働いていた。

問屋では、馬や人足を用意して、幕府の大名家たちの荷物を次の宿場まで運ぶ仕事をしていたんだね



メモ

- 長野県には 26 の宿場、そのうち長和町には 2 箇所の宿場がある。
- 長和町の宿場

長久保宿

中山道で 27 番目の宿場



【二十八 本宮峠道六拾九次之内 長久保】
(一立番) 廣重画 錦樹堂

和田宿

中山道で 28 番目の宿場



【二十九 本宮峠道六拾九次之内 和田】
(一立番) 廣重画 錦樹堂

- 一里塚 旅行者の目印として街道に設置されたもの。
一里 約 3.927km
長和町には約 6 つの一里塚がある。



芹沢一里塚



鍛冶足一里塚



厩沢一里塚

昔の宿場でたくさんの旅人が行き交っていたのを思い描きながら歩くと、もっと楽しくなりそうよね



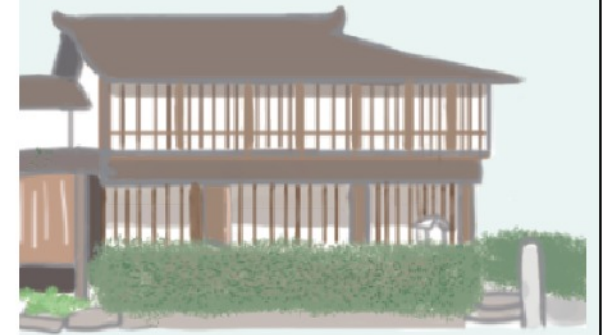
子ども用（小学生～）『コンちゃん和ゆく！長和町中山道』

- ・小学生を対象としたセルフガイド
- ・長久保宿編、和田宿編の2種類
- ・サイズ：130mm×130mm
- ・登場するキャラクター
→コンちゃん
子どもに馴染みやすい動物をモチーフ
- ・宿場跡の施設をピックアップして紹介
- ・解説などの学習的なものというより、写真の中のものをさがす形にして、ゲーム感覚で進められるようにする。
少しだけ問いを投げかけて探すものの興味を促す。
- ・設置するバス停は大人用と同様
- ・ページの最初に軽く中山道についての解説を入れる。

かわちや

れきし みちしりょうかん

歴史の道資料館



やく ねんまえ りょかん たび

約400年前は旅館で旅をしているひとが泊まった場所。

と ばしょ

今はいろんなものを見ることができるよ！

さがしてみよう！



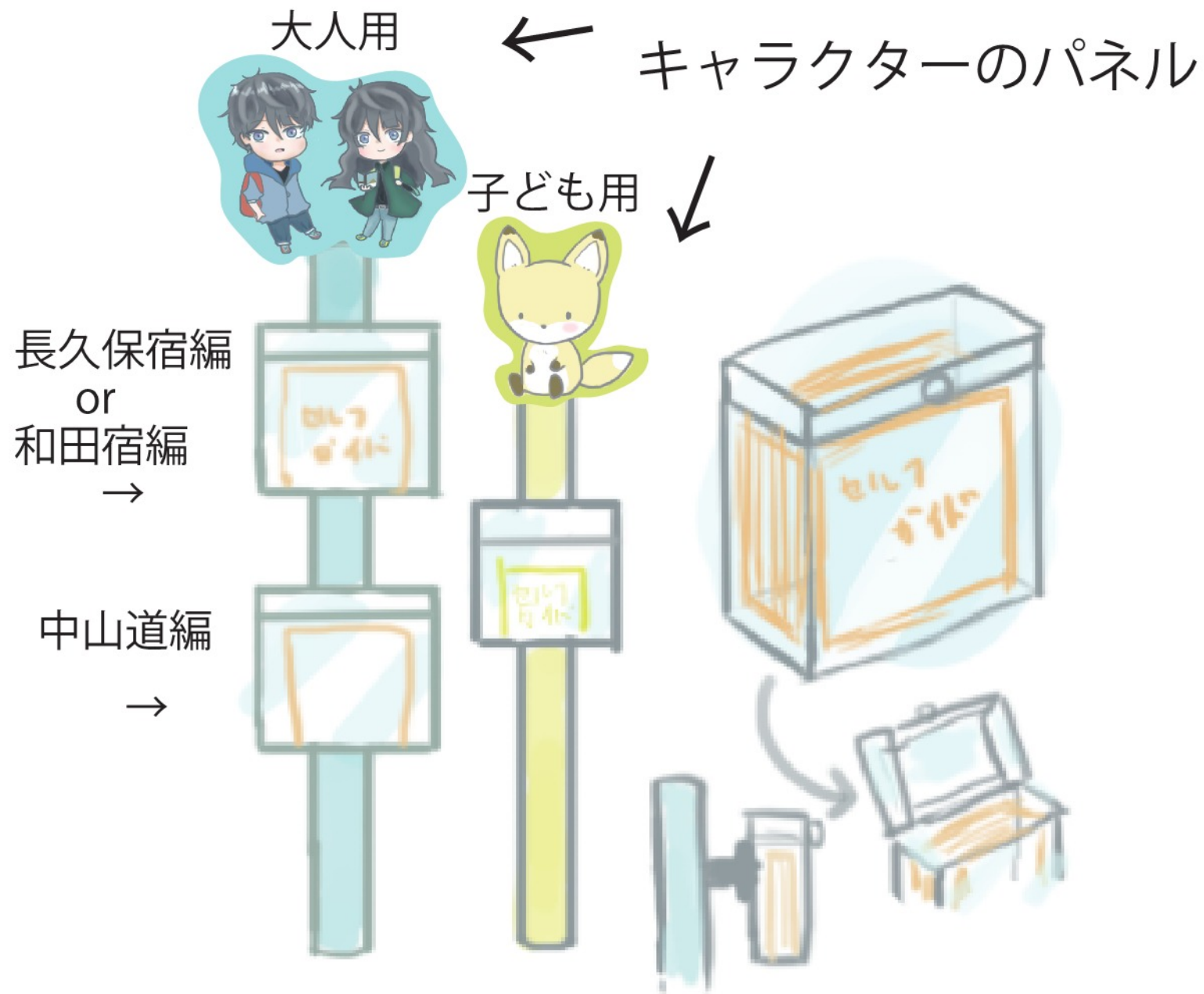
どんなことにつかうものかな？

むかしのどうぐが
たくさんあるね～



例：和田宿編

バス停設置案



例：長久保の場合

バスの乗り降りだけでなく、歩いている途中に目に留まります。
実際にバス停に行った際に手にとって、観光してもらうことがねらいです。

- 蓋つきのプラスチック容器にセルフガイドを入れて設置
- 和田小学校前などの建物があるバス停は、中に設置